

予 算 要 求 資 料

令和6年度当初予算

支出科目 款：衛生費 項：環境管理費 目：環境管理推進費

事業名 岐阜県温泉ガストロノミーウォーキング推進事業費補助金

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

環境生活部 環境生活政策課 自然公園係 電話番号：058-272-1111(内2927)

E-mail：c11260@pref.gifu.lg.jp

1 事業費 3,350 千円 (前年度予算額： 3,350 千円)

<財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財 産 収 入	寄附金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	3,350	1,500	0	0	0	0	0	0	1,850
要求額	3,350	1,500	0	0	0	0	0	0	1,850
決定額									

2 要 求 内 容

(1) 要求の趣旨 (現状と課題)

ガストロノミーウォーキングは、地域に根ざした食と自然、歴史などの魅力に触れることを目的とした欧米で流行している新たな旅のスタイルであり、日本ではこれに温泉を加えたONSEN・ガストロノミーリズムとして、(一社)ONSEN・ガストロノミーリズム推進機構の支援のもと、全国的に開催されている。

本県は全国的に有名な下呂温泉(下呂市)や平湯温泉(高山市)など数多くの温泉を有している。しかし、自然の恵みである温泉や、周辺の豊かな自然環境といった地域資源を一体的に体験できる機会が少ない。

(2) 事業内容

温泉地を中心に歩きながら自然環境を体感し、その地域の歴史や文化等の魅力に触れる「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」に取り組む市町村等に対し、開催に要する経費の一部を助成する。

また、近年の環境に関する大きな課題であるプラスチックごみの排出量削減や脱炭素等に向け、環境に配慮したイベントのモデルケースとして県内への普及を図る。

岐阜県温泉ガストロノミーウォーキング推進事業費補助金

【補助対象者】市町村、民間団体等

【補助率】1/2以内

【上限額】1,000千円(1団体あたり)

(3) 県負担・補助率の考え方

県内では開催実績が少なく、事業の立ち上げ及び定着に向けた支援が必要。また、開催により地域の活性化にもつながるため、県負担は妥当である。

(4) 類似事業の有無

無

3 事業費の積算 内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
報償費	18	説明会講師謝金
旅費	239	業務旅費、講師費用弁償
需用費	26	消耗品費、燃料費
役務費	29	郵送代等
負担金	10	イベント参加料
使用料	28	高速道路使用料、会議室使用料
補助金	3,000	ONSEN・ガストロミューキングの開催に要する経費に対する補助
合計	3,350	

決定額の考え方

4 参考事項

(1) 各種計画での位置づけ

第6次岐阜県環境基本計画

基本施策5「未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」

基本施策3「美しく豊かな環境との共生」

基本施策2「資源循環型社会の形成」

(2) 国・他県の状況

環境省は平成29年7月、温泉地の活性化に向けた提言をとりまとめ、「温泉を中心に、自然環境、歴史・文化、食などの地域資源を活かした元気になれるプログラムの提供が重要」としている。

平成29年度から国内各地で開催。令和4年度には全国で37回開催され4,806名が参加した。

(3) 後年度の財政負担

なし

(4) 事業主体及びその妥当性

市町村等が自然環境の保全意識の醸成と地域の活性化のために開催するイベントを県が支援することは妥当である。

県単独補助金事業評価調書

新規要求事業

継続要求事業

(事業内容)

補助事業名	岐阜県ONSEN・ガストロノミーウォーキング推進事業費補助金
補助事業者（団体）	市町村、民間団体等 (理由) 市町村だけでなく、地元実行委員会による開催が想定されるため。
補助事業の概要	(目的) ONSEN・ガストロノミーウォーキングの県内各地での開催の推進 (内容) 市町村等に対し開催経費の一部を支援 令和3年度からプラスチックごみ排出抑制や新型コロナ対策にかかる費用も対象とする 環境に配慮したイベントの推進を図るため、プラスチックごみの削減に取り組む事業については1事業あたりの開催回数を1回から3回に増やす
補助率・補助単価等	定率 (内容) 1/2以内 (理由) 事業の立ち上げと定着に重点を置くため。
補助効果	「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の開催による自然環境保全意識の醸成及び地域の活性化
終期の設定	終期 令和6年度 (理由) 感染症の影響により近年、事業中止が多い。事業の立ち上げから定着までを支援するため。

(事業目標)

- ・ 終期までに何をどのような状態にしたいのか
「ONSEN・ガストロノミーウォーキング」の県内への普及と定着を推進する。

(目標の達成度を示す指標と実績)

指標名	事業開始前 (R2末)	R4年度 実績	R5年度 目標	R6年度 目標	終期目標 (R8)	達成率
①開催回数 (累計)	2	3	6			60%
②参加率 (%)				100	100	

補助金交付実績 (単位：千円)	R2年度	R3年度	R4年度
	0	0	350

(これまでの取組内容と成果)

令和3年度	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルス感染症の影響を受け全ての計画が中止となった。
	指標① 目標： 4 実績： 2 達成率： 50 %
令和4年度	<p>池田町でONSEN・ガストロノミーウォーキング in 池田が開催された</p> <ul style="list-style-type: none"> 主催：池田町ONSEN・ガストロノミー実行委員会 開催日：令和5年3月19日（日） 参加者数：150名
	指標① 目標： 5 実績： 3 達成率： 60 %
令和5年度	令和7年度当初予算にて追加
	指標① 目標： 実績： 達成率：

(事業の評価)

<ul style="list-style-type: none"> 事業の必要性(社会情勢等を踏まえ、前年度などに比べ判断) 3：増加している 2：横ばい 1：減少している 0：ほとんどない 	
(評価) 2	県民の自然環境への意識醸成と地域の活性化という目的を達成するためには、引き続き県の関与が必要である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の有効性(指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか) 3：期待以上の成果あり(単年度目標100%達成かつ他に特筆できる要素あり) 2：期待どおりの成果あり(単年度目標100%達成) 1：期待どおりの成果が得られていない(単年度目標50~100%) 0：ほとんど成果が得られていない(単年度目標50%未満) 	
(評価) 2	令和4年度に開催されたイベントでは、初開催にも関わらず参加者から100%の満足度を得られており、アフターコロナにおける地域の活性化等にイベントは有効である。
<ul style="list-style-type: none"> 事業の効率性(事業の実施方法の効率化は図られているか) 2：上がっている 1：横ばい 0：下がっている 	
(評価) 1	第6次環境基本計画の基本施策に掲げた「基本施策5 未来につなぐ人づくりとライフスタイルの変容」に向けた取組みとして、プラスチックごみの排出削減にも取り組む。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> 事業が直面する課題や改善が必要な事項 補助の拡充等を含めた財政・運営両面における安定的な開催環境の確保と集客の在り方を検討することが必要。

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか 地域に定着すれば支援は不要となる。
